

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成30年9月6日(2018.9.6)

【公表番号】特表2017-532691(P2017-532691A)  
 【公表日】平成29年11月2日(2017.11.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-042  
 【出願番号】特願2017-524129(P2017-524129)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 10/08 (2012.01)  
 E 0 5 B 65/52 (2006.01)  
 E 0 5 B 37/02 (2006.01)  
 B 6 5 G 61/00 (2006.01)  
 G 0 8 B 25/10 (2006.01)  
 G 0 8 B 13/06 (2006.01)  
 G 0 8 B 13/14 (2006.01)

【F I】

G 0 6 Q 10/08 3 0 6  
 E 0 5 B 65/52 Z I T G  
 E 0 5 B 37/02 B  
 B 6 5 G 61/00 5 1 0  
 G 0 8 B 25/10 A  
 G 0 8 B 13/06  
 G 0 8 B 13/14 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月23日(2018.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロック装置がロック状態にある第1の位置と、前記ロック装置がアンロック状態にある第2の位置と、の間で移動可能なロック素子と、

前記ロック素子の前記第1の位置と前記第2の位置との間での移動を制御するように操作可能な第1のロック部材と、

前記第1のロック部材の操作及び/又は前記ロック素子の移動を検出するように配置されている第1のセンサと、

を備える荷物物品を安全にするためのロック装置。

【請求項2】

前記第1のロック部材の操作を検出するように、前記第1のセンサは、前記第1のロック部材と関連付けられている請求項1に記載のロック装置。

【請求項3】

前記ロック素子の移動を検出するように、前記ロック素子に関連付けられている第2のセンサを更に備える請求項2に記載のロック装置。

【請求項4】

前記ロック素子の移動を検出するように、前記第1のセンサは、前記ロック素子に関連付けられている請求項1に記載のロック装置。

## 【請求項 5】

前記ロック素子の前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間での移動を制御するように操作可能な第 2 のロック部材を更に備える請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のロック装置。

## 【請求項 6】

前記第 2 のロック部材の操作を検出するように、前記第 2 のロック部材に関連付けられている追加センサを更に備える請求項 5 に記載のロック装置。

## 【請求項 7】

前記センサのうちの一つ以上は電子センサである請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のロック装置。

## 【請求項 8】

一つ以上のセンサは、物理的力の印加を検出するように配置されている触覚センサを備える請求項 7 に記載のロック装置。

## 【請求項 9】

一つ以上のセンサは、移動を検出するように操作可能な位置センサを備える請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のロック装置。

## 【請求項 10】

前記一つ以上のセンサからのデータを処理するための処理部材を更に備え、前記処理部材は、一定時間にわたって検出された物理的力又は移動に基づいて試し作動イベントを区別するように配置されている請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のロック装置。

## 【請求項 11】

ハウジングと、

前記ハウジングに対して、ロック装置がロック状態にある第 1 の位置と前記ロック装置がアンロック状態にある第 2 の位置との間で移動可能なロック素子と、

少なくとも一部が前記ハウジング内に延在し、キーにより操作されるキーシリンダであって、ロック状態に設定される場合に、前記ロック素子の前記第 1 の位置から前記第 2 の位置への移動を制限するとともに、キーにより作動される場合に、前記ロック素子の前記第 1 の位置から前記第 2 の位置への移動を許可するように構成されているキーシリンダと

、  
ロック状態にある場合に、前記ロック素子の移動を制限するとともに、予め定義された組合せにある場合に、前記ロック素子の移動を許可するように構成されているコンビネーションロックと、

前記キーシリンダに挿入されたキーにより作動可能な第 1 のセンサと、

前記ロック素子の前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間での移動により作動可能な第 2 のセンサと、

前記第 1 のセンサと前記第 2 のセンサから受信するデータを処理する中央処理装置と、

前記中央処理装置により処理されるデータを記憶するメモリと、

前記第 1 のセンサ及び前記第 2 のセンサから受信するデータを含む無線信号を送受信するトランシーバと、

を備えるロック装置。

## 【請求項 12】

荷物物品に関連付けられたロック装置のロック状態を監視する方法であって、

ロック機構を監視することにより、前記ロック機構の作動を検出するステップと、

検出された一つ以上の作動をデータとしてメモリに記憶するステップと、

を備える方法。

## 【請求項 13】

検出された一つ以上の作動又は移動に関連付けられているデータを、ロック装置から離れた電子装置に送信するステップを更に備える請求項 12 に記載の方法。

## 【請求項 14】

ネットワークから受信された位置情報及び荷物物品の少なくとも一つ以上のロックから

の状態情報を含む情報を採集するための追跡装置と、

予定イベントが発生した場合に前記ネットワークを介して情報を送信する送信装置と、  
を備える荷物追跡装置であって、

前記荷物物品内に集積するように配置されていることを特徴とする荷物追跡装置。

【請求項 15】

一つ以上のロック機構と、前記一つ以上のロック機構により作動を検出するための一つ以上のセンサと、前記一つ以上のセンサからのデータを処理することにより作動イベントを識別するためのプロセッサと、作動イベントの詳細を遠隔デバイスに送信するための送信器と、を含むロック装置と、

位置情報データを含む一つ以上の信号を受信するための受信器と、前記受信器により受信されるデータを処理することにより位置情報を確定するためのプロセッサと、位置情報を遠隔デバイスに送信するための送信器と、を含む追跡装置と、

を備える荷物物品の追跡監視用のシステム。